



LIONS CLUBS INTERNATIONAL DISTRICT 334-A  
 ICHINOMIYA LIONS CLUB  
 一宮ライオンズクラブ  
 国際会長スローガン 「ウィ・サーブ」

一宮LCスローガン 「伝統に感謝 新たな未来へ ウィ・サーブ」

第1486回例会

2018~2019

No.5

**例会プログラム**

と き 平成30年9月12日(水) 12:15

ところ ザ・グランドティアラー宮

例会担当 財務委員会

スピーカーのご入場

開会のゴング

国旗に礼

国歌「君が代」斉唱

「ライオンズクラブの歌」斉唱

「ライオンズの誓い」唱和

「クラブスローガン」唱和

スピーカーのご紹介

会長挨拶

誕生日のお祝い

各委員会報告

幹事報告

スピーカーの時間

アテンダンス報告

テールツイスター報告

「また会う日まで」斉唱

ライオンズローア

閉会のゴング

スピーカーのご退場

**次の理事会 (第6回)**

と き 平成30年9月19日(水) 11:00

ところ 一宮商工会議所 402

**次の例会 (第1487回)**

**ガバナー公式訪問合同例会**

と き 平成30年9月20日(木) 14:15

ところ 名古屋文理大学文化フォーラム

(旧稲沢市民会館)

\*バスが一宮商工会議所前 13:00 に出発  
 します。是非ご利用下さい。



**スピーカーのご紹介**

日本M&Aセンター 営業推進部 部長

みよし てつや  
**三好 鉄弥様**

◎テーマ

「事例でわかるM&Aについて」

◎プロフィール

大学を卒業後、某金融機関に就職。  
 会計事務所を通じて、中小企業M&Aの存在を知り  
 2004年日本M&Aセンターに転職。  
 日本M&Aセンター入社後、金融法人部(銀行)、  
 情報開発部(会計)、名古屋支社の立ち上げ責任者を  
 経て、現在の営業推進部に至る。これまで携わっ  
 てきた案件は100件以上あり、豊富な経験による  
 具体的な事例を分かりやすく伝えることをモットー  
 にしている。



**お客様のご紹介**

岐阜県国際交流センター 国際交流員

**カンカーニゲ エランガ ハサンティ様**

◎お誕生日おめでとうございます

9月7日 L 国 本 実  
 7日 L 今 枝 竹 男  
 8日 L 長 田 太  
 17日 L 浅 井 重 宣  
 29日 L 後 藤 泰 司



## 4 回理事会報告

と き 平成30年8月21日(火)11:00

ところ 一宮商工会議所 402

出席者

L 五藤 L 伊藤 L 佐藤(彰) L 野寄 L 高橋

L 西尾 L 野村(政) L 佐藤(正) L 中沢 L 坂本

L 石黒 L 青山 L 山中 L 大山 L 井尾

L 立川 L 御子柴

議題

### 1. 3R第1回 YCE・レオ委員長会 (8/9) 報告

#### 3R第1回 LCIF・国際関係委員長会 (8/20) 報告

LCIF・国際関係・YCE・レオ委員長 L 岡崎正剛

幹事 L 野寄 章より会議の内容は9/12に委員長より報告。

### 2. 3R合同アクティビティ「チャリティゴルフ打ち合わせ会」(8/10) 報告

#### チャリティゴルフ大会準備委員会 (8/21) 報告

親睦委員長 L 高橋 敬

3R合同アクティビティ「チャリティゴルフ」の趣旨及び人数、今後の予定等報告。また当クラブ主催チャリティゴルフの参加人数、進捗状況についても報告。

### 3. 第1回3Rライオンズクエスト・薬物乱用防止委員長会 (8/20) 報告

#### ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員長 L 小川 康則

11月27日(火)薬物乱用防止教室認定講座あり、当クラブより2~3名受講予定。

### 4. 8月第2例会 (8/22) 献血奉仕活動について 献眼・献腎・献血・骨髄移植推進・聴覚・糖尿病予防委員長 L 井尾 公治

8/22(水)当日の準備状況及び8/21(火)前日準備の手伝いの日時、当日の服装等最終確認。

献血活動について、若者の参加が減少しているためPRが必要との課題が挙げられた

### 5. 地区若手リーダー育成研修会参加者選出について 2018年10月13日~14日 蒲郡温泉郷

今年度はL久保辰也とL御子柴孝明2名参加、承認。

### 6. その他

#### ①名古屋中村LC CM45周年記念式典 (9/9) について

幹事 L 野寄 章

五藤一樹会長、第一副会長 L 佐藤 彰、L 杉山幸紀夫3名が出席、承認。

#### ②Rガバナー公式訪問合同例会 (9/20) について

幹事 L 野寄 章

午後1時に一宮商工会議所前にバスを用意。

#### ③タイムカプセル掘り起こし式 (9/16)

青少年教育委員長 L 御子柴孝明

タイムカプセル事業に関するポスターの原案が提示され、ポスターの内容等決定、承認

#### ④YCE 派遣生帰国報告会 (9/9) について

L 立川智浩より

9/9(日)13:30 キャッスルプラザにて開催。

## お知らせ

### 第57回東洋・東南アジアフォーラム

と き 2018.11.15~11.17

ところ 中国 海南島

早期申込締切 9/30まで \$100

10/1から \$130

国際協会は会則で七つの地域(Area)に分けられており、日本は「東



洋・東南アジア」に含まれている。

東洋・東南アジアフォーラムは親善を深めることを主目的としてこの地域内のライオンズクラブ代表の参加によって開催され、この地域に共通の問題点を話し合っています。

●参加ご希望の方は事務局までお申し込み下さい。



(株)カラース

一宮市大和町妙興寺字階子田84-2

TEL (0586) 48-4611

L 大島 基 睦



一宮市西島町3-2 ☎ 72-3733

L 大島 八 重 子

(有)衛藤興業

一宮市大和町北高井字千束59

TEL (0586) 68-4488

L 衛 藤 雅 一

## 第1485回例会アテンダンス報告

会員数 202名 家族会員 201名  
例会出席対象会員数 101名  
出席者 62名 (メーク・アップ 3名)  
出席率 64%

## 今後スピーカー予定表

10月第1例会	岩瀬早苗様
10/10(水)	サニーナチュラルクッキング
11月第1例会	北平純子様
11/14(水)	オフィスコトノハ(株)
12月第1例会	瀬戸 潔様
12/12(水)	セトワイナリー 代表
1月第2例会	秋篠くるみ様
1/23(水)	(株)ミルク 代表
2月第2例会	森内真希様
2/27(水)	BilantImpression(株) 代表取締役
3月第1例会	清水泰行様
3/13(水)	日本赤十字センター

## (有) KAN

一宮市栄1丁目5-16  
TEL 25-0029 FAX 24-8614  
L 大山 恭 範

## サンライズ 法律事務所

SUNRISE  
LAW OFFICE

一宮市神山三丁目3番9号  
TEL 43-6225 FAX 43-6229  
L 岡本 将 嗣

住まいの増築・改造・新築

## (株)中部リフォーム

一宮店：一宮市大字光明寺字神宮68番地 ☎51-6522(代)  
小牧店：小牧市弥生町50番地 ☎(0568)74-6266(代)

L 大森 正 三

## 会員投稿欄

### 井戸端会議

げんしゅくなる。献血奉仕へのイベント皆々様、ご尽力ありがとうございました。それぞれ担当の部所で動いて下さる皆様には頭が下がるばかり。。。時代は変わりました。

そのシステムにおいて簡略化され私達長老は眺めているだけです。それだけならばいいのにお昼ご飯までいただけて。あるコーナーでは井戸端会議まで始めてしまいました。

会場東側に設置されたテントは素晴らしいコミュニサロンでした。

通常の例会では話さない、多くの会話が出来、私は楽しませて頂きました。

一宮クラブのカラーはこうしたところで産まれるのでしょうか。



### どうでもいい話

L久保辰也、L高橋 敬からチャリティゴルフ大会への協賛金の依頼を受ける。

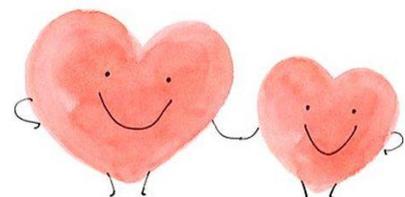
私(大島八重子)とL原田豊子は一口5,000円それぞれ協賛した。

ということに明記されているようですが実際の所L原田豊子が10,000円出してくれまして、私は出しておりません。

本来ならば、その通り報告しなくてははいけませんのに・・・。

メンバー諸君は私達二人を眺め、私がL原田豊子をサポートしているかに見えましようがある部分において私は彼女の保護を受けているのです。

大島八重子





# 一宮ライオンズクラブ継続アクティビティ



会長・幹事	回数	年月日	献血受付者数	採血者数	不適者数	献血受付者数累計
宮崎・佐藤	1	S.52. 8.10	364	333	31	364
大角・柴田	2	S.53.10.27	241	221	20	605
神田・横井	3	S.54. 8.29	332	296	36	937
横井・中沢	4	S.55. 8.29	363	353	10	1,300
松岡・宮田	5	S.56. 8.28	632	573	59	1,932
渡辺・村上	6	S.57. 8.26	431	406	25	2,363
岩田・森	7	S.58. 8.24	487	444	43	2,850
長谷川・奥田	8	S.59. 8.24	480	438	42	3,330
村上・村橋	9	S.60. 8.23	464	441	23	3,794
柴田・萬谷	10	S.61. 8.22	479	441	38	4,273
中沢・藤本	11	S.62. 8.21	413	375	38	4,686
内田・岩崎	12	S.63. 8.24	433	406	27	5,119
佐藤・田中	13	H.元. 8.25	600	549	51	5,719
宮田・柳田	14	H. 2. 8.22	667	610	57	6,386
森・池戸	15	H. 3. 8.21	651	617	34	7,037
佐々木・奥村	16	H. 4. 8.19	710	660	50	7,747
村橋・築城	17	H. 5. 9. 3	710	626	84	8,457
奥田・祖父江(俊)	18	H. 6. 8.24	795	729	66	9,252
祖父江(俊)・小室	19	H. 7. 8.23	679	574	105	9,931
萬谷・尾関	20	H. 8. 8.28	543	443	100	10,474
井ノ口・加藤	21	H. 9. 8.27	631	538	93	11,105
池戸・田中(幸)	22	H.10. 8.26	651	522	129	11,756
田中(稔)・松山	23	H.11. 8.25	688	561	127	12,444
加藤・稲川	24	H.12. 8.23	675	555	120	13,119
松山・坂本	25	H.13. 8.22	616	504	112	13,735
森・則竹	26	H.14. 8.28	586	433	153	14,321
稲川・今井	27	H.15. 8.25	548	424	124	14,869
阿部・下田	28	H.16. 8.25	531	382	149	15,400
田中(幸)・牛田	29	H.17. 8.24	429	298	131	15,829
坂本・杉山	30	H.18. 8.23	402	285	117	16,231
則竹・石黒	31	H.19. 8.22	276	186	90	16,507
下田・山中	32	H.20. 8.26	309	226	83	16,816
青山・奥村	33	H.21. 8.27	417	317	100	17,233
大島・馬場	34	H.22. 8.23	332	249	83	17,565
村橋(福)・佐藤(克)	35	H.23. 8.25	372	297	75	17,937
大山・野村	36	H.24. 8. 8	347	259	88	18,284
杉山・五藤	37	H.25. 8.20	448	317	131	18,732
山中・佐藤(彰)	38	H.26. 8.21	315	258	57	19,047
石黒・三輪	39	H.27. 8.26	288	238	50	19,335
野村(政)・西尾	40	H.28. 8.24	480	269	211	19,815
伊藤・立川	41	H.29. 8.23	336	225	114	20,151
五藤・野寄	42	H.30. 8.22	315	189	126	20,466

# YCE派遣生帰国報告



YCE生 立川 葵

派遣期間：8/2～8/28

派遣先：ウエストバージニア



8月2日から8月27日まで一宮ライオンズ様よりアメリカウエストバージニア州へ派遣させていただいた立川葵と申します。

まず今回のYCE派遣にあたり、スポンサーをしてくださいました一宮ライオンズクラブ様をはじめ、サポートをしてくださいましたキャビネット役員の皆様、YCEFの皆様には感謝申し上げます。

私がこの派遣を通して最も印象に残っていることは、発音の難しさです。アメリカでは特にRの発音が他の英語を使う国と比べてすごく異なります。日本人には難しい発音です。アメリカのwater（水）の発音がとても有名だと思います。

例えばマクドナルドは「ド」にアクセントをかなり置かなければ伝わりません。今回の派遣で私は発音の難しさ、アクセントの大切さを感じ、今まであまり気にしていなかったスペルの発音や、アクセントを練習していこうと思いました。



この派遣に行く前に行われた英語研修会で立てました目標の達成度は90%だと思います。

最初の1週間はネイティブのように話しかけられた言葉から話題をどんどん膨らますことは派遣前の私には難しく、発音が聞き取られない場合は相手が本当は分かっているのに「うんうん」と相槌を打つだけで、単語だけでも十分通じるので会話がそこで終わることが多かったです。しかし滞在が10日以降になると自分なりに習得している単語、文法を使いホストファミリーを始め、沢山の知り合った方々と、多くの会話もできたのでとても満足しています。

先日の9/3に学校にて英語の学力確認テストがありました。その時ほとんどが実力問題で文法や会話文の中に適切なものをあてはめたり、並び替えたりする問題がありました。

この1ヶ月ホストファミリーと会話する際に使用した文法や会話を思い出すと以前と比べ、簡単に解くことができました。簡単な会話でしたがホストファミリーが私に語りかけてくる時の言葉をいつも頭の中で整理して考えていたので知らない間に「自然と力がついたので！」とテストにて実感しました。

アメリカの文化はいいな、日本にも欲しいなと思ったのが、目が合えばすぐ笑顔になり、気分がとても良くなる事や、くしゃみをする際にアメリカではお大事にという意味の「bless you」という単語を必ず言います。私はこれを学校で習得していたので「本当に言うんだ～」と面白かったです。

「ブレスユー」言われてみるととても気持ちがいい単語。食事から生活面、レジャー全てにおきましてアメリカ文化は私には大変心地良かったです。初めは憂鬱でしたが帰国すると、YCE生としまして派遣に行き本当に良かったと思います。

ありがとうございました。



# YCE派遣生帰国報告



YCE生 岩田 真衣 佳

派遣期間：8/5～8/21

派遣先：スペイン



はじめに、今回のスペインへの派遣に当たって支援してくださった一宮ライオンスクラブのみなさまに感謝申し上げます。

「翻訳できない世界のことば」という本に紹介されているスペイン語の言葉に Sobremesa (ソブレメサ) があります。意味としては「テーブル越し」という意味で、食後に会話や交流を楽しむことを指します。これはスペイン独特の食習慣で、ホスト家庭も例外ではなく昼食や夕食の後は皆でおしゃべりしていました。ホストファミリー・マザーからは日本の文化や宗教についてよく聞かれ質問に答える一環で日本語の「いただきます」を紹介したことがあります。ホストシスターとブラザーとはスペインと日本の学校生活の違いやアニメの話をよくしました。



現地に着いて5日目に地域最大のお祭りの Féria (フェリア) が開幕しました。大会場に立ち並び Caseta (カセータ) と呼ばれる小屋の1つで生ハムやオリーブなどの伝統的な料理を頂いた後は来場者全員で Flamenco (フラメンコ) を踊りました。初めての体験で恥ずかしかったですが、ホストマザーの友人の方が振りを教えてくださったので私も一緒に踊りました。日本の夏祭りで行われる盆踊りとは異なる華やかさがありました。また当日、浴衣を着ていた私は現地の方々に珍しがられ、一緒に写真を撮って欲しいと何回かお願いされました。



日本から持参した焼きそばとカレーをホストファミリーに作りました。焼きそばに使う豚肉をどうしようか迷いましたが、幸いスペインには生ハムがあるのでそれで代用しました。美味しい！と喜んでくれたので嬉しかったです。カレーを作ったときはお代わりもしてくれました。

お土産として手作りの名前入りキーホルダーを渡しました。翌日、家族全員がそれぞれの家の合鍵に付けてくれていました。

←カセータにてホストマザー（向かって右隣）とその友人達

↓リビングにて夕食後のソブレメサ





## アガワル LCIF 理事長が西日本豪雨被災地を視察



広範囲で記録的な大雨が続き、各地で土砂災害や河川の氾濫が発生した西日本豪雨災害は、死者 220 人、行方不明者 10 人に及び惨事となった。土砂災害の発生件数は 1 道 2 府 28 県で 1464 件、広島県は最も多い 471 件が報告されている（7 月 30 日国土交通省発表）。その甚大な被害の報告を受けたアガワル理事長は、即座に指定大災害交付金 30 万ドルの交付を決定した。

8 月 3 日に愛知県名古屋市で開かれる LCIF 理事長セミナーのため来日を予定していたアガワル理事長は、2 日夜に中部国際空港に到着すると山田寛紘元国際会長、鈴木誓男 LCIF 理事、中村泰久元国際理事と合流して東海道新幹線で広島市へ移動。翌朝 6 時半、長崎孝太郎 336-C 地区ガバナーらと共にマイクロバスで被害の大きかった安芸郡坂町へ向かった。

坂町では砂防ダムの崩壊で小屋浦地区が土石流にのみ込まれた他、町役場のある中心部を流れる総頭川上流から大量の土砂が押し寄せるなどの被害が発生。死者 16 人、

行方不明者 1 人、住家被害は全壊 195 軒、半壊 687 軒に上っている（7 月 31 日広島県発表）。坂町役場に到着した



アガワル理事長一行は、安芸郡を活動地域とする安芸ライオンズクラブのメンバーの案内で、土砂にのまれた一帯を歩いて視察した。川や道路に堆積した大量の土砂の除去はある程度進んでいたものの、1 階部分が土砂に埋まったままの住宅や、上流から流されて大破した乗用車などが被害の大きさを物語っていた。土砂の直撃を受けた新築住宅は、この日案内を担当していた正田俊 36-C 地区副幹事（安芸ライオンズクラブ）が経営する建設会

社が手がけた住宅で、翌日には引き渡しというところで被害に遭ったと言う。

続いて町内に設けられた避難所の一つサンスターホールを訪問。一時は 380 人が身を寄せたこの避難所では、災害発生から間もなく 1 カ月となるこの日の時点で 33 人が避難を続けている。避難所の山下義武所長は、飲料水など必要不可欠な物資は足りているものの、避難生活が長引く中で被災者は普段通りに好きな物を楽しめないことがストレスになってきていると説明。アガワル理事長がどのような支援が必要かと尋ねたところ、日本赤十字から派遣された医師が引き上げた後、薬が手に入らなくなったため常備薬があれば助かると話していた。

336-C 地区では長崎地区ガバナーの病院を支援物資の受け入れ場所とし、全国のライオンズから寄せられる物資をこの避難所を含む各地の避難所へ届けてきた。続いて訪れたのはボランティアセンターが置かれている坂町災害たすけあいセンターで、



ここには沖縄や富山などのライオンズから届いたスポーツ飲料や土嚢、タオルなどの支援物資を運び入れた。センターのスタッフからは、ボランティアにはスポーツ飲料や塩分補給タブレットなどの需要が高いとの説明があった。

336-C 地区では変化していく被災地のニーズを捉えて支援に当たりたいとしている。西日本豪雨に対する LCIF 交付金は西日本水害対策委員会が管理し、被災地のライオンズの支援事業を支えていく。

2018.08 更新（取材／河村智子）

